

21004 人間福祉演習Ⅱb Seminar on Human Welfare II		4 年次 通年 4 単位	
担当者	江尻 桂子	履修可能学科	W必
		関 連 資 格	
サブタイトル	自己や他者を理解し、支援するための心理学的アプローチ（2）		
授業内容 ・ ねらい	皆さんが今生きている社会には、さまざまな問題があります。親子や夫婦関係といった家族の問題、悩みを抱えたり生きづらさを感じたりしている児童・青年の問題、不登校や非行、ニートの問題、育児や高齢者介護の問題、障がい児・者の問題など、これまでの学びのなかで、皆さんも様々な問題に関心を寄せてきたと思います。このゼミでは、「自己や他者を理解し、支援する」ことを目標にしながらも、心理学や福祉という枠組みにとらわれず、皆さんのひとりひとりの問題意識を大切にしていゆきます。具体的には、各自が3年次の演習Ⅰ後期で行った発表をもとに、さらに研究を深め、実際に卒業論文という形にしてゆくことを目指します。論文を書き進める際には、皆でディスカッションしながら考察を深めていきます。批判しあうのではなく建設的な意見を述べあい、共に学びを深めようという意識、そして学びへの熱意と真摯な態度を期待しています。研究成果については、卒業論文またはレポートとして完成させることを目標としています。論文の作成にあたっては、ゼミでの指導を中心に、個別指導の時間も大切にしながら、進めていきます。		
授業計画	演習Ⅰでの学びをふまえ、各自、卒業論文にまでつながる研究テーマを決め、より詳しく掘り下げて調べます。具体的にはまず卒業論文の作成方法についてのガイダンスを行い、その後、各自が選んだテーマについて、どのような方法で研究を進めるか、指導を行います。前期後期ともに、各自の進行状況について中間発表を行います。卒業論文提出後には、パワーポイントによる発表資料を作成し、1月に最終発表会（パワーポイントによる口頭発表）を行います。 【前期】 第1回～第5回 研究手法 第6回～第13回 中間発表 第14～第15回 演習の総まとめ 【後期】 第1回～第4回 卒業論文執筆方法 第5～第10回 中間発表 第11回～第12回 発表準備（パワーポイント） 第13～第14回 卒論発表会 第15回 演習の総まとめ		
教科書 参考書	授業の中で紹介します。		
評価方法	授業への参加態度、発表、レポート、出席状況を総合して成績を評価します。前期に1/3以上欠席した場合、または、後期に1/3以上欠席した場合、いずれも成績を評価することはできません。		
事前準備学習 履修条件等	・履修登録にあたっては、3年次から継続履修のゼミ生を優先させますが、新規の希望があれば、御相談下さい。 ・近隣市町村にて、学外授業を行うかもしれません。その場合には、交通費が若干かかります。		